

みずだより



渇水対策の五ヶ山ダム 堤体コンクリート工事に着手しました

福岡市は、昭和53年の未曾有の大渇水により、287日にも及ぶ長期間の給水制限を余儀なくされ、市民生活及び都市活動に極めて大きな影響を与えることとなり、皆さまに大変なご迷惑をおかけしました。

このことを契機に、異常渇水時の影響を最小限に抑えることができるよう、渇水対策容量・異常渇水時の水の備蓄を持つ五ヶ山ダムの建設が計画され、昭和63年に建設事業が採択されました。現在、福岡県が事業主体となり、平成29年度の完成を目指し、那珂川上流の南畑ダムと脊振ダムの間に建設を進めています。

現在の様子

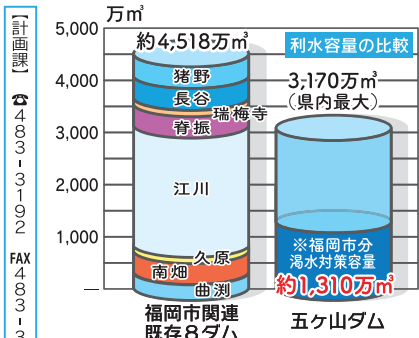
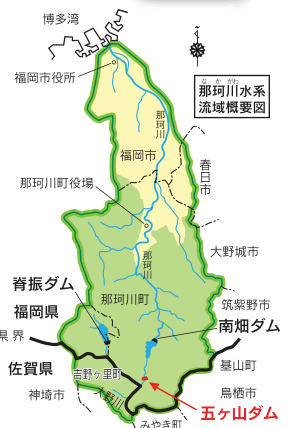
平成26年2月17日にダムの本体となる堤体コンクリート工事を開始し、今年度末までには堤体工事の約半分が完了する予定です。



完成後の役割

五ヶ山ダムは、有効貯水容量3,970万立方メートルの容量を有する多目的(治水・利水等)ダムであり、そのうち1,310万立方メートルが本市の渇水対策容量となります。

た、昨年2月には国道385号線の付け替え道路が開通するなど周辺道路の工事も順調に進んでいます。地権者の方々をはじめ、地元の方々と、関係自治体の皆さまに改めて感謝するとともに、引き続きご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

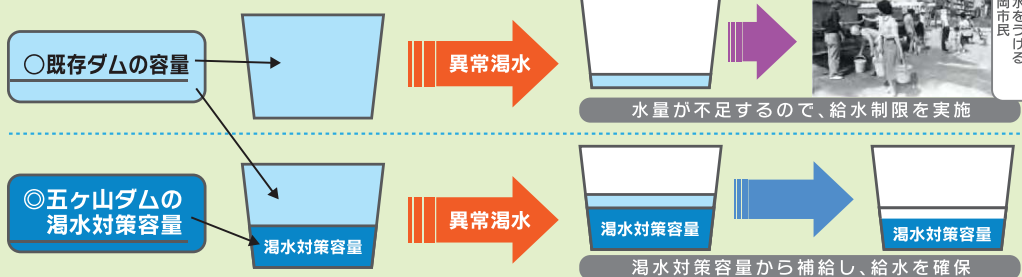


いざという時の水をこんなに確保できるって安心だね!



近年、温暖化現象などの様々な要因により、降雨状況は非常に不安定であり、今後、渇水のリスクが増大していくことが予想されます。そのような中でも、皆さまに安心して水をお使いいただくことができるよう、五ヶ山ダム建設事業を推進してまいります。

~ 異常渇水時の給水イメージ ~



TEL 483-3131 FAX 482-1376 E-mail kekaku.WB@city.fukuoka.lg.jp